

令和8年度 評価規準

学校名：江戸川区立篠崎中学校

教科	技術		学年	1
単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準	
技術分野のガイダンス	1	3年間の技術分野の学習に見通しを持ち、主体的に学習に取り組もうとしている。	身の回りの製品に込められた技術の工夫やアイデアを調べ発表する。オリンピック・パラリンピックを通じた、技術革新を理解する。	
身の回りにある材料と加工の技術	2	身の回りの製品を見て、なぜその材料が使われているか知る。	身の回りの製品に生かされている材料の特性と材料に適した加工方法について理解する。	
木材・金属・プラスチックの特徴	2	それぞれの材料の特徴を理解する。	身の回りの製品に使われている材料は製品の強度・耐久性・費用・環境への負荷などを理解する。	
製作品の構想・設計	2	製作品の構想を製作に必要な図に表す。	製作に必要な図の描き方を理解する。	
製作手順を考えた製作(木材加工)	14	それぞれの工程に必要な知識を身に付ける。	安全・適切な工具を選択し、製作ができるか。また、他者と協働して、粘り強く取り組む。	
★これからの材料と加工の技術	2	持続可能な社会の構築のため、これからの材料と加工の技術について考える。	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、材料と加工の技術を評価できる。	
運動エネルギーへの変換	2	機械が運動する仕組みを調べる。	機械が運動する仕組みについて知る。また、運動の種類とエネルギー変換について理解する。	
機械が動く仕組み	2	往復運動や揺動運動などを伝えるリンク機構やカム機構の仕組みを調べる。	回転運動を伝える仕組みの種類と用途を理解する。	
機械の保守点検	2	機械の保守点検の大切さを知る。	共通部品を使うことのメリットについて考え、機械の保守点検の必要性を理解する。	
情報技術とは	2	生活や社会、産業の様々な場面でコンピュータなどの情報の技術が利用されていることを知る。	情報の表現や記録ができる仕組みを理解する。	
情報のデジタル化	2	コンピュータがすべての情報を数値化していることを知る。	情報のデジタル化の仕組み、デジタル化の方法とデータ量に関係について理解する。	
◆情報通信ネットワークの仕組み	2	情報通信ネットワークの仕組みややり取りについて理解する。	情報ネットワークの構成・仕組みを理解する。	